

1.	③	11.	④	21.	②	31.	①	41.	②
2.	③	12.	①	22.	①	32.	④	42.	①
3.	③	13.	②	23.	④	33.	④	43.	②
4.	④	14.	②	24.	①	34.	④	44.	①
5.	④	15.	④	25.	①	35.	②	45.	④
6.	②	16.	②	26.	②	36.	③	46.	④
7.	①	17.	③	27.	④	37.	②	47.	③
8.	④	18.	①	28.	①	38.	③	48.	②
9.	②	19.	③	29.	②	39.	④	49.	①
10.	①	20.	②	30.	①	40.	③	50.	④

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を推測する、～だと思う」です。「guess」は、不確かな情報に基づいて「～だろうと推測する」という意味の動詞です。口語では「I think」と同じように「～だと思う」という意味で気軽に使われます。「Guess what?」(何だと思う?＝ねえ、聞いてよ)という会話を切り出す表現もよく使われます。①「～を決定する」は **decide**、②「～を説明する」は **explain**、④「～を約束する」は **promise** です。

◆補足：「I guess so.」で「たぶんそうだと思う」という、少し自信のない同意の返事になります。クイズなどで「当ててみて!」と言うときは「Take a guess!」と言います。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③「それは残念だ。」です。相手に何か良くないことがあったときに、同情の気持ちを表す相づちとして使われます。「お気の毒に」や「それは残念ですね」といったニュアンスです。①「それは素晴らしい。」は **That's great.**、②「それはひどすぎる。」は **That's terrible.**、④「どういたしまして。」は **You're welcome.** です。

◆補足：too bad の bad は「悪い」という意味ですが、too が付くことで「残念だ」という気持ちを表します。That's a shame. も同じような状況で使われる表現です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「get on」です。バスや電車、飛行機、船のような、立って乗れるスペースがある大きな乗り物に「乗る」ときに使います。「Let's get on the next bus.」(次のバスに乗りましょう)のように使います。①「get off」は「降りる」という反対の意味です。②「ride on」は、自転車やバイク、馬などに「またがって乗る」ときに使います。④「take on」は「(仕事などを) 引き受ける」という意味の全く違う熟語です。

◆補足：タクシーや乗用車のように、かがんで乗り込むような小さな乗り物の場合は「get in」を使います。降りるときは「get out of」です。乗り物によって使い分けるのがポイントですね。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「旅行する」です。「travel」は、ある場所から別の場所へ、特に遠くへ移動すること、つまり「旅行する」という意味の動詞です。例えば、「I want to travel to many countries.」(私はたくさんの国を旅行したいです)のように使います。①「到着する」は「arrive」、②「滞在する」は「stay」、③「予約する」は「book」や「reserve」という単語を使います。

◆補足：「travel」は動詞だけでなく、「旅行」という名詞としても使われます。例えば、「I like travel.」(私は旅行が好きです)のように使えます。また、旅行のことを「trip」とも言いますが、「travel」は「旅行という行為全般」を指し、「trip」は「特定の旅行(出張や小旅行など)」を指すことが多いです。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④「A に～ということを話す」です。「tell」は「～に…を話す、伝える」という意味で、「tell + 人 + that + 文」の形で「(人) に～ということを話す」という情報を伝える文を作ります。問題文は「彼は私に忙しいと話した」という意味になります。①は ask A if ...、②は tell A to do ...、③は A says that ... のように、それぞれ異なる動詞や形を使います。

◆補足：「say」も「言う」という意味ですが、通常「say to 人」の形をとり、that 節を続けるときは人の部分を省略することが多いです(He said that he was busy.)。「tell」は必ず後ろに「誰に」を意味する言葉が来るのが大きな違いです。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「風の強い」です。「windy」は、天気「風の強い」状態であることを表す形容詞です。「It was a windy day.」（風の強い日でした）のように使います。名詞の「wind」（風）に y がついて形容詞になった形ですね。①「晴れた」は sunny、③「曇った」は cloudy、④「雨の」は rainy です。

◆補足：天気を尋ねるときは、「How's the weather?」と聞きます。答えるときは「It's sunny.」や「It's windy.」のように、It's を主語にして言うのが一般的です。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「北」です。「north」は方角の「北」を指す言葉です。名詞として「the north」（北部）のように使ったり、形容詞として「the north exit」（北口）のように使ったり、副詞として「go north」（北へ行く）のように使ったりします。②「東」は east、③「西」は west、④「南」は south です。

◆補足：形容詞形は“northern”で、「northern Japan」で「北日本」という意味になります。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「hungry」です。「お腹がすいた」という意味の基本的な形容詞です。「I'm so hungry. Let's eat something.」（すごくお腹がすいた。何か食べよう）のように使います。①「angry」（怒っている）と発音が少し似ているので、言い間違えないように注意しましょう。②「happy」は「幸せな」、③「sleepy」は「眠い」という意味です。

◆補足：名詞形は「hunger」（飢え、空腹）です。とてもお腹がすいているときは、「I'm starving.」（お腹がペコペコだ）という表現も使われます。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②「interesting」です。「面白い、興味深い」という意味の形容詞で、本や映画、話など、様々なものに対して使うことができます。例えば、「This book is very interesting.」（この本はとても面白いです）のように使います。①「important」は「重要な」、③「different」は「違う、異なる」、④「difficult」は「難しい」という意味の形容詞です。

◆補足：「interesting」は動詞「interest」（～に興味を持たせる）から来ています。人が何かに「興味を持っている」と言うときは、「be interested in ～」の形を使います。例えば、「I am interested in history.」（私は歴史に興味があります）となります。「interesting」は「物事」が主語に、「interested」は「人」が主語に来ることが多いと覚えておきましょう。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「gym」です。「gym」は、学校の「体育館」や、トレーニング器具が置いてあるフィットネス「ジム」の両方を指すことができる単語です。「I go to the gym twice a week.」（私は週に2回ジムに行きます）のように使います。②「park」は「公園」、③「ground」は屋外の「運動場」、④「pool」は「プール」を意味します。

◆補足：gym は gymnasium という単語の短い形で、日常会話では gymの方が圧倒的に多く使われます。体育の授業は“P.E. (Physical Education) class”と言います。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「いいえ、結構です。」です。これは、“Would you like some more coffee?”（コーヒーのおかわりはいかがですか？）のように、相手が何かを勧めてくれたときに、それを丁寧に断るための定番のフレーズです。ただ“No.”と言うよりも、“thanks”をつけることで「お気遣いありがとう、でも大丈夫です」という柔らかいニュアンスが伝わります。

◆補足：もう少し丁寧に言いたい場合は、「No, thank you. I'm fine.」や「I'm good, thanks.」のように付け加えることもあります。これらの表現も覚えておくと、様々な場面で使えますよ。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「in the future」で、「将来に、未来に」という意味を表す表現です。「I want to be a doctor in the future.」（私は将来、医者になりたいです）のように使います。②「for a while」は「しばらくの間」という期間を表します。③「at that time」は「その時」という過去のある時点を指します。④「in the past」は「過去に」という意味で、「in the future」の反対の表現です。

◆補足：「future」は名詞で「未来、将来」という意味です。似た表現に「near future」（近い将来）があります。「in the near future」で「近い将来に」という意味になります。例：I want to go to America in the near future.（近い将来アメリカに行きたいです。）

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「デザート、食後のお菓子」です。「dessert」は、食事の最後に出される甘い食べ物のことです。ケーキ、アイスクリーム、果物などが含まれます。③の「desert」（砂漠）とスペルがとてもよく似ていますが、s が一つ多いのが「dessert」です。「①「朝食」は breakfast、④「飲み物」は drink や beverage と言います。

◆補足：デザート注文するときは、「What would you like for dessert?」（デザートは何になさいますか？）と聞かれたり、「I'll have the cheesecake for dessert.」（デザートにチーズケーキをいただきます）のように答えたりします。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「Sure.」です。相手からの提案や依頼に対して、「もちろん」「いいですよ」と快く同意・承諾するときに使われる、とても便利な返事です。日常会話で頻繁に使われます。①「Really?」は「本当に？」と驚きや疑いを表します。③「Never.」は「決して～ない」という強い否定です。④

「Maybe.」は「たぶんね」と、はっきりしない返事をするときに使います。

◆補足：「Sure.」は、「Of course.」と似ていますが、より口語的で柔らかい響きがあります。「Certainly.」はさらに丁寧な表現で、店員がお客さんに対して使うときなどに適しています。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「size」です。日本語の「サイズ」と同じで、物の「大きさ」や、衣類・靴などの寸法を指します。「What size are you?」（あなたのサイズはいくつですか？）とお店で聞かれたりします。①

「prize」は「賞」、②「price」は「値段」、③「style」は「スタイル、様式」という意味です。発音が似ている単語に注意しましょう。

◆補足：洋服のサイズを尋ねるときは、「What size do you wear?」や「What's your size?」のように言います。答えるときは「I'm a medium.」や「I wear a size 9.」のように言います。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②「stay」です。「stay」は、ある場所に移動せず「とどまる」ことや、旅行先などで一時的に「滞在する」ことを意味する動詞です。例えば、「Stay here.」（ここにとどまりなさい）や「I'm going to stay at a hotel.」（ホテルに滞在する予定です）のように使います。①「leave」は「去る」、③「move」は「動く、引っ越す」、④「visit」は「訪れる」という意味の動詞です。

◆補足：「stay」を使って、「stay home」（家にいる）、「stay healthy」（健康を保つ）、「stay warm」（暖かくしている）のように、「～の状態を保つ」という意味で使うこともできます。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「A に B を送る」です。「send」は「送る」という意味の動詞で、「send A B」の形で「A（人）に B（物）を送る」という使い方をします。例えば、「I will send you an email.」（あなたにメールを送ります）のように使います。①「A と B を交換する」は exchange A with B、②「A に B を貸す」は lend A B、④「A から B を受け取る」は receive B from A などで表現します。

◆補足：「send」の過去形は「sent」です。不規則に変化するので注意しましょう。「send A B」は「send B to A」という形に書き換えることもできます。例えば、「I sent him a letter.」は「I sent a letter to him.」と同じ意味になります。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「はい、どうぞ。」です。「Here you are.」は、相手が探していた物や頼まれた物を「はい、どうぞ」と手渡すときに使う、非常に一般的な表現です。文字通りに「あなたはここにいます」と訳さないように注意しましょう。お店でお会計の後におつりや商品を渡されるときなど、日常の様々な場面で耳にします。

◆補足：「Here you are.」とほぼ同じ意味で「Here you go.」もよく使われます。「Here you go.」の方が少しカジュアルな響きがあります。どちらも覚えておくと便利です。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「at home」です。「家で」または「在宅して」という、場所にいる状態を表す表現です。「My father is not at home now.」（父は今、家にいません）のように使います。①「go home」は「家に帰る」という動きを表す動詞句です。②「my house」は「私の家」という名詞句です。④「come from」は「～の出身である」という意味の熟語です。

◆補足：home は「家へ」という意味の副詞としても使えるので、go to home のように to をつけずに go home と言うのがポイントです。「at school」（学校で）や「at the station」（駅で）のように、at は場所を表すときによく使われる前置詞です。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②「待ちきれない、とても楽しみだ」です。「I can't wait.」は、直訳すると「私は待つことができない」ですが、実際には「何かを非常に楽しみにしていて、早くその時が来てほしい」というワクワクした気持ちを表すときに使う口語表現です。例えば、旅行やパーティーの前などに使います。①の「物理的に待てない」という意味で使うことはほとんどありません。

◆補足：何が楽しみなのかを具体的に言いたいときは、「I can't wait for the summer vacation.」（夏休みが待ちきれない）や「I can't wait to see you.」（あなたに会うのが待ちきれない）のように、for や to を使って後ろに続けることができます。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「meet」です。「meet」は「(人と) 会う」という意味の基本的な動詞で、特に初めて会う場合や、約束をして会う場合によく使われます。①の「come」は「来る」、③「talk」は「話す」、④「wait」は「待つ」という意味です。

◆補足：「Nice to meet you.」（はじめまして）という挨拶は、まさに「meet」が「初めて会う」という意味で使われている良い例ですね。待ち合わせの約束をするときは、「Let's meet at the station at ten.」（10時に駅で会いましょう）のように言います。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「再び、また」です。副詞の「again」は、同じことを繰り返すときに使います。「Could you say that again?」（もう一度言っていただけますか？）のように、非常によく使われる単語です。②

「いつも」は always、③「決して～ない」は never、④「ついに」は finally や at last など表現します。

◆補足：「again and again」で「何度も何度も」という強調した表現になります。また、別れの挨拶で「See you again.」（また会いましょう）というのも定番のフレーズですね。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「Certainly.」です。「Certainly.」は「確かに、間違いなく」という意味の副詞ですが、会話では相手の依頼や要望に対して「かしこまりました」「承知いたしました」と丁寧に答えるときに使われます。特に店員がお客さんに対して使うことが多い、フォーマルな表現です。①「Of course.」は「もちろん」ですが、場合によっては「当たり前ですよ」という少し強い響きになることがあります。②「You're welcome.」は感謝への返答、③「I'm sorry.」は謝罪の言葉です。

◆補足：「Certainly.」は“Sure.”よりも丁寧な言い方です。友人同士のカジュアルな会話では“Sure.”や“OK.”がよく使われますが、フォーマルな場面では「Certainly.」が適切です。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を忘れる」です。forget は、覚えているべきことや、持ってくるべき物を「忘れる」という意味の動詞です。Don't forget your homework.（宿題を忘れないでね）。②「～を許す」は forgive、③「～を禁じる」は forbid、④「～を予報する」は forecast です。

◆補足：forget の過去形は forgot、過去分詞形は forgotten と不規則に変化します。対義語は remember（～を覚えている、思い出す）です。forget to do で「～するのを忘れる」、forget doing で「～したことを忘れる」という使い分けも重要です。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を注文する」です。動詞の「order」は、レストランや店で品物を「注文する」という意味で非常によく使われます。「I'd like to order a pizza.」（ピザを注文したいのですが）のように使います。②「～を支払う」は pay、③「～を予約する」は book や reserve、④「～を料理する」は cook という単語を使います。

◆補足：「order」には、動詞で「～を命令する」、名詞で「注文」「命令」「順番、順序」など、たくさんの意味があります。まずはレストランで使う「注文する」の意味をしっかりと覚えましょう。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「結婚する」です。「get married」は「結婚する」という動作や状態の変化を表す、とてもよく使われる表現です。例えば、「They will get married next month.」（彼らは来月結婚します）のように使います。①「恋に落ちる」は fall in love、③「婚約する」は get engaged、④「離婚する」は get divorced という表現がそれぞれ一般的です。

◆補足：「marry」という動詞も「～と結婚する」という意味で使えます。例えば、「She will marry him.」のように、後ろに直接相手を表す言葉が来ます。「be married」は「結婚している」という状態を表します。例：「Are you married?」（結婚していますか？）

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「寺、寺院」です。「temple」は、主に仏教やヒンドゥー教などの宗教的な儀式が行われる建物を指します。日本の「お寺」は英語で temple と説明するのが一般的です。①「神社」は日本の神道の施設なので“shrine”、②「城」は“castle”、③キリスト教の「教会」は“church”と言って区別します。

◆補足：京都や奈良には有名なお寺がたくさんありますね。例えば、金閣寺は“Kinkaku-ji Temple”または“the Golden Pavilion”、清水寺は“Kiyomizu-dera Temple”のように表現されます。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「完璧な、申し分のない」です。「perfect」は、欠点や間違いが全くない「完璧な」状態を表す形容詞です。「This plan is perfect.」（この計画は完璧だ）のように使います。また、人に対して「あなたにぴったりだ」と言いたいときにも使います。例：「This jacket is perfect for you.」（このジャケットはあなたにぴったりです。）②、③、④は意味の異なる形容詞です。

◆補足：副詞の「perfectly」（完璧に）もよく使われます。例：I understand perfectly.（完璧に理解しました。）また、テストで満点を取ったときに「Perfect score!」（満点だ!）と言ったりしますね。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「～するつもりだ、～する予定だ」です。「be going to + 動詞の原形」の形で、未来の行動についての意図や、すでに決まっている予定を表します。また、目の前の状況から、ほぼ確実に起こると予測される未来を表すときにも使います。例：「I'm going to visit my grandmother this weekend.」（今週末、祖母を訪ねる予定です。）①「～しなければならない」は have to do、③「～したい」は want to do と表現します。

◆補足：未来を表す助動詞「will」と似ていますが、「be going to」は、話す前から決めていた計画や意図を表すニュアンスが強いです。一方、「will」はその場で決めた意志を表すときによく使われます。例：（電話が鳴って）I'll get it.（私が出ます。）

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「pie」です。果物や肉、野菜などを詰めて、パイ生地で覆ったり包んだりして焼いた料理やお菓子のことです。「apple pie」（アップルパイ）や「pumpkin pie」（パンプキンパイ）などが有名ですね。②「cake」は「ケーキ」、③「bread」は「パン」、④「cookie」は「クッキー」を指します。

◆補足：アメリカなどでは、感謝祭（Thanksgiving Day）にパンプキンパイを食べる習慣があります。また、「as easy as pie」という表現があり、「パイのように簡単」、つまり「朝飯前」という意味で使われます。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「～すべきだ、～した方がよい」です。助動詞「should」は、義務やアドバイス、提案などを表すときに使います。「You should eat more vegetables.」（あなたはもっと野菜を食べるべきです）のように、相手に何かを勧めるときによく使われます。④の「must」（～しなければならない）ほど強い強制力はありません。②「～できる」は can、③「～かもしれない」は may が使われます。

◆補足：否定形の「should not」（短縮形は shouldn't）は、「～すべきではない」という意味になります。例：You shouldn't stay up late.（夜更かしはすべきではありませんよ。）

32.

解答 ④

【解説】

正解は④「shopping mall」です。日本語の「ショッピングモール」と同じで、多くの専門店が集まっている大規模な商業施設を指します。単に「mall」と言うことも多いです。①「supermarket」は「スーパー（マーケット）」のことで、大規模な小売店ですが、基本的には単一の店舗であり、「たくさん

の専門店が集まった施設」という定義とは明確に異なります。②「convenience store」は「コンビニエンスストア」、③「grocery store」は主に「食料品店」を指します。

◆補足：アメリカなどでは、郊外にある巨大なショッピングモールが人々の憩いの場になっています。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「sleepy」です。「眠い」という状態を表す形容詞です。「I feel sleepy after lunch.」（昼食の後は眠く感じます）のように使います。①「tired」は「疲れている」、②「hungry」は「お腹がすいている」、③「angry」は「怒っている」という意味の形容詞です。

◆補足：「sleepy」は動詞「sleep」（眠る）からできた形容詞です。「go to sleep」で「眠りにつく」、「fall asleep」で「眠りに落ちる」といった表現もよく使われます。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「～もまた（～ない）」です。肯定文で「私もです」というときは「Me, too.」のように「too」を使いますが、否定文で「私も～ではありません」と同意するときは、文の最後に「either」を使います。

◆補足：either は「either A or B」（A か B のどちらか）という形で使われることも非常に多いです。この使い方もしっかり覚えておきましょう。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「How many ～?」です。数えられる名詞の「数」を尋ねるときに使う疑問文の形です。many の後ろには、必ず複数形の名詞が来ます。「How many books do you have?」（あなたは何冊本を持っていますか?）のように使います。①「How much ～?」は数えられないものの「量」や「値段」を尋ねます。③「How long ～?」は「長さ」や「期間」、④「How often ～?」は「頻度」を尋ねる表現です。

◆補足：How many と How much の使い分けは英語の基本です。数えられる名詞（apples, students, days...）には many、数えられない名詞（water, money, time...）には much を使うとしっかり覚えておきましょう。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「a piece of」です。これは、そのままでは数えられない名詞を「一つ、一枚、一切れ」と数えるときに使う便利な表現です。例えば、a piece of cake（ケーキ一個）、a piece of paper（紙一枚）、a piece of cheese（チーズ一切れ）のように使います。①「a cup of」はコーヒーや紅茶などカップに入れるもの、②「a pair of」は靴やメガネなど二つで一組のもの、④「a lot of」は「たくさんの」という意味で使います。

◆補足：数えられない名詞を数える表現は他にもたくさんあります。例えば、a glass of water（コップ一杯の水）、a slice of bread（パン一枚）、a bottle of juice（ジュース一本）など、容器や形状に合わせて使い分けます。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「散歩に行く」です。「go for a walk」は「散歩に出かける」という意味で使われる定番の表現です。「Let's go for a walk in the park.」（公園に散歩に行きましょう）のように使います。③「買い物に行く」は go shopping、④「泳ぎに行く」は go swimming のように、「go ...ing」の形もよく使われます。①「仕事に行く」は go to work と言います。

◆補足：「go for a 〜」の形で、「〜しに行く」という意味を表すことができます。「walk」の他にも、go for a drive（ドライブに行く）や go for a run（走りに行く）などの表現があります。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「go out for」です。「go out」は「外出する」という意味で、その後ろに「for + 食事など」を続けることで、「〜をしに外出する」という目的を表すことができます。例えば、「Let's go out for dinner tonight.」（今夜、夕食を食べに出かけましょう）のように使います。①「look out for」は「〜に気をつける」、②「get out of」は「〜から出る」、④「stay in」は「外出しない、家にいる」という意味です。

◆補足：「go out」だけで「(恋人として) 付き合う」という意味で使われることもあります。例えば、「Are they going out?」（彼らは付き合っているの?）のように使います。文脈によって意味が変わる面白い表現ですね。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「dish」です。「dish」は、①の「plate」（平皿）や②の「bowl」（ボウル）などを含む「食器、皿」の総称として使われるほか、「一品料理」そのものを指す言葉としても非常によく使われます。例えば「My favorite dish is curry and rice.」（私の好きな料理はカレーライスです）のように使います。③「cooking」は「料理をすること」という行為を指す名詞です。

◆補足：「main dish」は「主菜」、「side dish」は「副菜」を意味します。また、複数形の「dishes」は「（使用済みの）食器類」を指し、「do the dishes」で「皿洗いをする」という熟語になります。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「忙しい」です。busy は、やるべきことがたくさんあって「忙しい」状態を表す形容詞です。I'm too busy to help you.（忙しすぎてあなたを手伝えません）。①「最高の」は best、②「退屈な」は boring、④「きれいな」は beautiful や pretty です。

◆補足：be busy with ~で「～で忙しい」、be busy doing で「～するのに忙しい」という形をよく使います。I am busy with my homework. / I am busy doing my homework.（私は宿題で忙しい）。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「medium」です。洋服や飲み物のサイズを表すときの「M サイズ」は、この「medium」の頭文字です。「中くらい」という意味の形容詞としても、名詞としても使われます。「I'd like a medium size.」（M サイズが欲しいです）のように言います。①「minimum」は「最小の」、③「main」は「主な」、④「modern」は「近代の」という意味で、サイズを表す言葉としては使いません。

◆補足：サイズは小さい方から順に、extra small (XS), small (S), medium (M), large (L), extra large (XL) のようになります。ステーキの焼き加減を尋ねられたときも、rare (レア), medium (ミディアム), well-done (ウェルダン) のように使いますね。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「hope」です。「hope」は、実現する可能性があることについて「～だといいな」「～を望む」と期待するときに使う動詞です。後ろに that を使った文が続くことが多いです (that は省略可能)。例：「I hope (that) it will be sunny tomorrow.」(明日晴れるといいな)。②「guess」は、確信はないけれど「～だと思う」「～と推測する」という意味で使います。日本語の「～かな」「たぶん～だと思う」という軽い感覚に近いです。③「order」は「～を注文する」「～を命令する」という意味、④「think」は「～と思う」という意味です。

◆補足：「hope to do」の形で「～したいと望む」という意味でも使えます。例：I hope to see you again. (またあなたに会いたいです。)

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「～へ引っ越す」です。「move」は「動く」という基本的な意味のほかに、「引っ越す、転居する」という意味で非常によく使われます。「move to + 場所」の形で「～へ引っ越す」となります。

「My family will move to Kobe next month.」(私の家族は来月、神戸へ引っ越します)のように使います。①「～へ旅行する」は travel to ～、③「～へ帰る」は return to ～、④「～を訪問する」は visit ～ が使われます。

◆補足：「move in」で「入居する」、「move out」で「退去する」という表現もあります。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「block」です。主にアメリカ英語で、都市の通りに囲まれた「一区画」を指す言葉として使われます。「Go straight for two blocks.」(2 ブロックまっすぐ進んでください)のように、道案内で距離を示す単位としてよく使われます。②「corner」は「角、曲がり角」、④「street」は「通り」を意味します。

◆補足：日本語の「ブロック」と同じように、「積み木」や「かたまり」という意味でも使われます。また、動詞として「～を妨害する、ふさぐ」という意味もあります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「chef」です。「chef」は、特にレストランなどで働くプロの「料理人」や、その責任者である「料理長」を指す言葉です。①「cook」も「料理人」と訳せますが、家庭で料理する人や、より一

一般的な調理員を指すこともあります。「chef」の方が専門的な響きがあります。②「waiter」は男性の給仕、③「owner」はその店の「所有者、オーナー」です。

◆補足：「chef」はフランス語から来た言葉です。有名な料理人は“a famous chef”、ホテルの料理長は“the head chef of the hotel”のように表現されます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「easy」です。「簡単な、やさしい」という意味の最も一般的な形容詞です。「This question is very easy.」（この問題はとても簡単です）のように使います。①「difficult」は「難しい」という意味で、「easy」の反対の言葉です。②「heavy」は「重い」、③「busy」は「忙しい」という意味です。

◆補足：「easy」の比較級は「easier」、最上級は「easiest」と、y を i に変えて -er, -est をつけます。副詞は「easily」（簡単に）となります。例：I can do it easily.（私はそれを簡単にできます。）

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「sweater」です。日本語の「セーター」と同じで、毛糸などで編まれた上着を指します。動詞の「sweat」（汗をかく）から来ていて、もともとは汗をかくための運動着だったそうです。①

「jacket」は「ジャケット」、②「shirt」は「シャツ」、④「coat」は冬に着る「コート」のことです。

◆補足：イギリス英語では、セーターのことを“jumper”と言うことも多いです。アメリカ英語では“jumper”は女性や子供用の「ジャンパースカート」を指すので、少し注意が必要ですね。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「take A to B」です。「A を B へ連れて行く、持って行く」という意味で、人にも物にも使えます。例えば、「I'll take you to the station.」（駅まであなたを連れて行きます）や「He took his umbrella to school.」（彼は学校へ傘を持って行きました）のように使います。動詞 call は①「call A to B」のような形は取りません。③「send A to B」は「A を B へ送る」、④「get A from B」は「B から A を得る」で A にはモノや知識、感情や病気などいろいろな語が入ります。B が場所であれば「B から A を持ってくる」という意味にもなります。

◆補足：「take」と「bring」の使い分けは、話の中心がどこにあるかで決まります。話の中心から遠ざけるのが「take」、話の中心に近づけるのが「bring」です。例えば、家で話していて「学校に傘を持っ

て行きなさい」なら “Take your umbrella.”、学校にいる先生が「傘を持ってきたさい」なら “Bring your umbrella.” となります。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「祖父」です。「grandfather」は、お父さんまたはお母さんのお父さん、つまり「おじいさん」を指す言葉です。②「父親」は father、③「孫」の場合は、男の子なら grandson、女の子なら granddaughter と言います。④「おじ」は uncle です。

◆補足：「おじいさん」を親しみを込めて呼ぶときは「grandpa」と言います。同様に、「おばあさん」は「grandmother」で、親しみを込めた呼び方は「grandma」です。両親と祖父母をまとめて「parents and grandparents」のように表現します。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「クリーム」です。「ice cream」（アイスクリーム）や「whipped cream」（ホイップクリーム）など、おなじみの言葉にも使われていますね。②「叫び声」（scream）や③「夢」（dream）は、-ream というスペルと音が共通しているので、間違えないようにしましょう。①「氷」は ice です。

◆補足：コーヒーに入れるミルクのことも「cream」と言うことがあります。また、肌に塗るクリーム（hand cream など）や、クリーム色（薄い黄色）を指すこともあり、幅広い意味で使われる単語です。
